

## 物構研サイエンスフェスタ開催のお知らせ

物構研サイエンスフェスタ実行委員長 雨宮健太  
伊藤晋一

物構研は加速器を用いた量子ビーム（放射光・中性子・ミュオン・低速陽電子）を大学共同利用として多くの利用者に提供してきております。各施設は日夜、実験研究を推進しております。その現状及び成果について発表し、将来展望についても議論するため、物構研サイエンスフェスタを下記のように開催いたします。

昨年まで物構研では、物構研シンポジウムと PF シンポジウムを開催してきましたが、今年度から KENS, MSL シンポジウムを加えた上で、これらを統合して開催することといたしました。物構研サイエンスフェスタでは、初日はすべて合同セッションとして、サイエンスセッション、ポスター発表、懇親会を計画しております。また二日目は、放射光（低速陽電子を含む）、中性子、ミュオンの各施設に分かれて議論を行います。皆様には、是非ご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

また、PF のユーザーグループに関しては、例年通り前日の 3 月 13 日（水）夕方にユーザーグループミーティングを開催していただきます。

前日の 3 月 13 日午後から、サイエンスフェスタのサテライトミーティングとして、構造物性研究センター（CMRC）全体会議と、加速器を利用した物質材料研究を若い人達に紹介する「西川シンポジウム」（<http://nishikawa-sympo.kek.jp/>）を開催いたしますので、是非そちらにもご参加下さい。

**主催：**物質構造科学研究所

**共催：**PF-UA

**協力：**（社）つくば観光コンベンション協会

**協賛：**日本中間子科学会，日本表面科学会，日本陽電子科学会，日本結晶学会，日本中性子科学会，日本放射光学会，日本物理学会，J-PARC センター，J-PARC/MLF 利用者懇談会

**会期：**2013 年 3 月 14 日（木）～ 15 日（金）

**場所：**つくば国際会議場（エポカルつくば）  
茨城県つくば市竹園 2-20-3

**参加申し込み方法：**

ホームページ（<http://imss-festa.kek.jp/2012/>）より参加申込フォームにてお申し込み下さい（ウェブでの参加申し込みは 2 月 28 日まで。その後は当日会場にて）。

**参加費：**無料

**懇親会：**3 月 14 日（木） 18：30～ エポカル大ホール前  
会費：当日払い 6,000 円（一般），4,000 円（学生）

**プログラム：**

**【3 月 14 日（木）（1 日目）】**

**物構研サイエンスフェスタ（大ホール）**

08:30- 受付開始

09:00-09:10 物構研所長挨拶

09:10-12:00 サイエンスセッション I：マルチプローブが

拓く 物性研究の最前線

09:10-09:35 「放射光， 中性子を用いた固体酸化物型燃料電池材料の評価」

伊藤孝憲（AGC セイメイケミカル）

09:35-10:00 「マルチプローブを利用した層状ニッケル酸化物の多角的研究」

打田正輝（コーネル大）

10:00-10:25 「マンガン系人工超格子における電荷・磁気状態の研究」

中尾裕則（KEK 物構研）

10:25-10:40 休憩

10:40-11:05 「表面の電子， スピン， 構造—光と陽電子を用いた相補的研究」

河裾厚男（原子力機構）

11:05-11:30 「銅酸化物高温超伝導体における電荷・スピン状態のミュオンスピン緩和／中性子散乱／ ARPES による相補的研究」

足立 匡（東北大）

11:30-13:00 写真撮影／昼食

13:00-13:10 文部科学省来賓挨拶

13:10-13:20 高エネルギー加速器研究機構 理事挨拶

13:20-16:00 サイエンスセッション II：量子ビームを用いた

たソフトマター研究の展望

13:20-14:05 「加速器をベースにした構造生命科学の国際展開にむけて」

若槻壮市（スタンフォード大／ KEK 物構研）

14:05-14:30 「細胞分裂におけるメンブレントラフィックの役割：細胞生物学と構造生物学の融合研究」 中山和久（京大）

14:30-14:45 休憩

14:45-15:10 「タンパク質複合体の結晶構造から解き明かす細胞機能」

千田俊哉（KEK 物構研）

15:10-15:35 「ブロックコポリマーの形成するナノ迷宮」

竹中幹人（京大）

15:35-16:00 「生命現象の謎を物質科学から解く～界面の自発運動と構造形成」

瀬戸秀紀（KEK 物構研）

16:00-18:30 ポスターセッション（多目的ホール）

18:30-20:30 懇親会（大ホール前ホワイエ）

**【3月15日（金）（2日目）】**

**第30回 PF シンポジウム（中ホール 300）**

09:00-10:10 施設報告

- 09:00-09:30 施設報告（村上洋一）
- 09:30-09:40 構造生物学研究センター報告（千田俊哉）
- 09:40-09:50 構造物性研究センター報告（村上洋一）
- 09:50-10:00 低速陽電子実験施設報告（兵頭俊夫）

10:00-10:10 質疑・討論

10:10-10:25 休憩

10:25-11:15 光源・加速器の開発状況と整備計画

- 10:25-10:35 「PF-Ring, PF-AR 運転報告」  
帯名 崇（KEK 加速器）
- 10:35-10:55 「PF リング挿入光源更新計画」  
土屋公央（KEK 加速器）
- 10:55-11:15 「PF-AR 直接入射路増強計画」  
高木宏之（東大）

11:15-12:00 ビームライン・測定装置の開発状況と整備計画

- 11:15-11:25 「ビームライン開発・整備計画の概要（仮題）」  
伊藤健二（KEK 物構研）
- 11:25-11:40 「PF X線ビームラインの整備計画」  
五十嵐教之（KEK 物構研）
- 11:40-11:55 「軟X線・真空紫外ビームラインの整備計画」  
雨宮健太（KEK 物構研）

11:55-12:00 質疑・討論

12:00-13:00 昼食

（12:45-13:00 ポスター賞表彰式【中ホール 300】）

13:00-14:00 PF 将来光源 ERL 計画

- 13:00-13:15 「ERL 推進室のこの一年と今後」  
河田 洋（KEK 物構研）
- 13:15-13:35 「cERL 建設現状と今後」  
坂中章悟（KEK 加速器）
- 13:35-11:50 「3 GeV-ERL で展開するサイエンス」  
足立伸一（KEK 物構研）
- 13:50-14:00 総合討論

14:00-15:15 PF における国際協力

- 14:00-14:30 「BL-20B: The Australian National Beamline Facility. Celebrating over 20 years of Australia-Japan Research Collaboration at the Photon Factory」 Richard Garrett (Australian Nuclear Science and Technology Organisation)
- 14:30-15:00 「Bioinorganic Chemistry at the Australian National Beamline Facility, Photon Factory」 Peter A. Lay (The University of Sydney)
- 15:00-15:15 「Indian beam-line at Photon Factory - Present Status」 Milan K. Sanyal (Saha Institute of Nuclear Physics)

15:15-15:30 休憩

15:30-16:30 PF-UA 総会

16:30-17:30 PF の運営についての意見交換

17:30 閉会

**第1回 KENS シンポジウム（中会議室 202）**

- 09:00-09:30 「高分解能チョッパー分光器による物質のダイナミクスの研究（2012S01）」  
伊藤晋一（KEK 物構研）

- 09:30-10:00 「パルス冷中性子を用いた中性子基礎物理研究（2009S03）」  
清水裕彦（名大）

- 10:00-10:30 「小型集束型中性子小角散乱装置の技術実証研究（2009S04）」  
大沼正人（物材研）

10:30-10:40 休憩

- 10:40-11:10 「SuperHRPD を用いた機能性物質の構造研究と方法論の開発（2009S05）」  
野田幸男（東北大）

- 11:10-11:40 「特殊環境中性子回折装置を使った蓄電池材料の構造学的研究（2009S10）」  
福永俊晴（京大）

- 11:40-12:10 「中性子スピネコー分光器群（VIN ROSE）のための高輝度ビームラインの建設（2009S07）」  
日野正裕（京大）

12:10-13:10 昼食

（12:45-13:00 ポスター賞表彰式【中ホール 300】）

- 13:10-13:40 「中性子反射率計 SOFIA を用いたソフト界面の研究」  
山田悟史（KEK 物構研）

- 13:40-14:10 「機能性材料中性子散乱解析システム」での3次元偏極度解析による静的・動的スピン構造物性の研究（2009S09）」  
大山研司（東北大）

14:10-14:20 休憩

- 14:20-14:50 「高強度全散乱装置による水素貯蔵機構の基本原理解明（2009S06）」  
大友季哉（KEK 物構研）

- 14:50-15:20 「中性子透過撮像（2009S11）」  
鬼柳善明（北大）

15:20-15:40 全体討論

※講演時間には10分の質疑応答が含まれます。

**第1回 MSL シンポジウム（中会議室 201）**

**「ミュオン新規ビームラインにおける研究検討会」**

- 09:30-09:40 はじめに 門野良典（KEK 物構研）

- 09:40-10:00 「J-PARC MUSE におけるミュオンビームライン（D&U & S&H）の現状」  
三宅康博（KEK 物構研）

- 10:00-10:20 「Hライン 建設と開発の進捗」  
河村成肇（KEK 物構研）

- 10:20-10:40 「Sライン 動き出す低速ミュオンビームライン」  
幸田章宏（KEK 物構研）

10:40-11:00 休憩

- 11:00-11:20 「Sライン汎用分光器」  
小嶋健児（KEK 物構研）

11:20-11:40 「S ライン高磁場分光器」  
幸田章宏 (KEK 物構研)

11:40-12:00 「S ライン極低温分光器」  
髭本 亘 (JAEA 先端研)

12:00-13:00 昼食  
(12:45-13:00 ポスター賞表彰式【中ホール 300】)

13:00-13:20 「H ライン MuHFS」 松田恭幸 (東大)

13:20-13:40 「H ライン DeeMe」 青木正治 (阪大)

13:40-14:00 「H ライン g-2」  
齋藤直人 (KEK 素核研・東大・J-PARC)

14:00-14:10 休憩

14:10-14:30 「電池等の材料研究に必要な  $\mu$ SR チャンネル・分光系」  
杉山 純 (豊田中研)

14:30-14:50 「ミュオンによる銅酸化物高温超伝導体母物質の特異な磁性の研究」  
藤田全基 (東北大)

14:50-15:00 「4f・5f 電子系研究の最近の展開と  $\mu$ SR」  
網塚 浩 (北大)

15:00-15:20 休憩

15:20-15:40 「大強度パルス状表面ミュオンビームによるミュオン化学の新しい展開」  
久保謙哉 (ICU)

15:40-16:00 「物構研におけるパルス量子ビームを用いた光誘起ダイナミクスの研究展開」  
野澤俊介 (KEK 物構研)

16:00-16:20 「レーザー照射  $\mu$ SR」  
下村浩一郎 (KEK 物構研)

16:20-17:00 ディスカッション  
司会：小嶋健児 (KEK 物構研)

17:00 閉会

### 物構研サイエンスフェスタ実行委員

阿部仁 (放射光), ◎宮宮健太 (放射光), ◎伊藤晋一 (中性子), 猪野隆 (中性子), 熊井玲児 (放射光/構造物性), 小池洋二 (東北大工), 小嶋健児 (ミュオン), 清水敏之 (東大薬), 谷本育律 (加速器七), 濁川和幸 (放射光), 朴三用 (横浜市大), 横山英明 (東大新領域), Leonard Chavas (放射光/構造生物) (◎: 実行委員長)

## CMRC 研究会「構造物性研究の現状と今後の展開ー共鳴軟 X 線散乱を中心にー」開催のお知らせ

開催日：2013 年 3 月 12 日, 13 日

場所：KEK 4 号館 2 階輪講室 1, 2

### 【プログラム】

#### < 3 月 12 日 >

10:15-10:20 村上洋一 (KEK-PF/CMRC) 「はじめに」  
10:20-10:45 「ペロブスカイト型  $\text{LaCoO}_3$  薄膜における

ストレイン誘起フェリ磁性とスピン・軌道秩序の観測」藤岡 淳 (東大)

10:45-11:10 「斜入射軟 X 線共鳴散乱による  $\text{LaCoO}_3$  薄膜の磁気・軌道秩序の観測」  
山崎裕一 (KEK-PF/CMRC)

11:10-11:35 「希薄不純物置換や電子ドーピングで作る  $\text{LaCoO}_3$  の新たなスピントロニクスオーバー」  
富安啓輔 (東北大学高等教育開発推進センター)

11:35-12:00 「共鳴 X 線散乱による室温強磁性  $\text{Sr}_3\text{YCo}_4\text{O}_{10.5}$  の電子状態研究」  
岡本 淳 (KEK-PF/CMRC)

Lunch (12:00-13:30)

13:30-13:55 「共鳴 X 線散乱による層状ペロブスカイト型 Ni 酸化物の磁気・軌道秩序の観測」  
打田正輝 (コーネル大)

13:55-14:20 「磁場下共鳴軟 X 線散乱による人工超格子 Mn 薄膜の研究」  
須田山貴亮 (KEK-PF/CMRC)

14:20-14:45 「ペロブスカイト Mn 酸化物超格子のラウエフリッジの減衰として観測されるマイクロサイズの電荷軌道秩序/無秩序相分離」奥山大輔 (理化学研究所交差相関物性科学研究グループ)

14:45-15:10 「ペロブスカイト型バナジウム酸化物におけるランダムネスによる磁気・軌道秩序制御とキャリアドーピングによるモット転移近傍の 2 次元スピンゆらぎによる臨界異常」  
宮坂茂樹 (大阪大学大学院理学研究科)

15:10-15:30 「擬三角格子にある  $t_{2g}$  軌道が生み出す新奇物性」勝藤拓郎 (早稲田大学)

15:30-15:55 「面共有三量体構造をもつ遷移金属酸化物の構造と機能」寺崎一郎 (名古屋大学)

Coffee break (15:55-16:15)

16:15-16:40 「プロトン電子相関系分子性物質の構造物性」森 初果 (東大物性研)

16:40-17:05 「共鳴軟 X 線散乱でみた有機導体  $\beta\text{-(ET)}_2\text{PF}_6$  の電荷秩序状態」小林賢介 (KEK-PF/CMRC)

17:05-17:30 「共鳴軟 X 線散乱による有機強誘電体 TTF-CA の電子状態観測の試み」  
高橋由香利 (KEK-PF/CMRC)

17:30-17:55 「有機強誘電体 TTF-CA 他における XANES スペクトル計算」石橋章司 (産総研ナノシステム)

17:55- 「J-PARC の単結晶回折計による中性子構造解析の現状」中尾朗子 (CROSS)

19:30 ~ 懇親会 (つくばセンター付近)

#### < 3 月 13 日 >

9:00-9:25 「パイロクロア型ニオブ酸化物のニオブ変位の局所秩序」  
花咲徳亮 (大阪大学理学研究科物理学専攻)

9:25-9:50 「全対称型 f 電子自由度による相転移と揺らぎの効果」岩佐和晃 (東北大院理物理)

9:50-10:05 「共鳴 X 線散乱による  $\text{PrRu}_4\text{P}_{12}$  の金属・非金

属転移の研究」中尾裕則 (KEK-PF/CMRC)  
 10:05-10:30 「X線共鳴磁気散乱実験によるパイロクロ  
 ア型イリジウム酸化物の磁気構造の決定」  
 佐賀山基 (東大新領域)  
 10:30-10:55 「共鳴・非共鳴X線回折による  $URu_2Si_2$  の  
 隠れた秩序相の解明」  
 網塚浩 (北海道大学大学院理学研究院)  
 ※参加をご希望の方はホームページ (<http://cmrc.kek.jp/>) の参加フォームにてお申し込み下さい。

16:30 「遷移金属元素と軽元素の挙動から見る地球惑星  
 内部の構造と物性」近藤忠 (阪大) (25分)  
 16:55 「元素戦略 (電子材料)」村上洋一 (KEK) (25分)  
 17:20 「元素戦略 (磁性材料)」小野寛太 (KEK) (25分)  
 17:45 「水素吸蔵プロジェクト計画」  
 大友季哉 (KEK) (10分)  
 17:55 終了  
 ※参加をご希望の方はホームページ (<http://cmrc.kek.jp/>) の参加フォームにてお申し込み下さい。

## CMRC 全体会議 開催のお知らせ

**開催日:** 平成 25 年 3 月 13 日 (水) 13:30 ~ 17:55  
**場所:** つくば国際会議場 (エポカルつくば)  
 小会議室 406

### 【プログラム】

13:30 オープニング 村上洋一 (KEK) (10分)  
 13:40 「幾何学的電子相関がもたらす異常金属相の解明」  
 門野良典 (KEK) (25分)  
 14:05 「強相関電子系における軌道混成秩序とその外場  
 応答」中尾裕則 (KEK) (25分)  
 14:30 「分子性結晶における構造の外場応答と相制御」  
 熊井玲児 (KEK) (25分)  
 14:55 「強相関酸化物超構造を用いた新奇量子状態の観  
 測と制御」組頭広志 (KEK) (25分)  
 ----- 休憩 (15:20-15:40) -----  
 15:40 「磁性薄膜・多層膜における表面・界面の原子構造、  
 磁気状態および電子状態」  
 雨宮健太 (KEK) (25分)  
 16:05 「自発的に運動する界面の構造のマイクロビーム  
 SAXS とミリビーム SANS による測定」  
 瀬戸秀紀 (KEK) (25分)

## 第 2 回西川シンポジウム

～若手研究者の夢が拓く物質科学フロンティア～

KEK では、旧高エネルギー物理学研究所を創設し、  
 加速器科学の振興に尽力された元所長、西川哲治氏を  
 記念し、未来を担う大学学生等若い聴衆を対象に、加  
 速器を基盤にした科学研究の最先端を紹介するための  
 講演会を定期的に行っています。今回はその第2回目で、  
 特に聴衆と世代の近い若手研究者に、自らの体験を交  
 えて物質科学への夢を語って頂きますので、将来の研  
 究者を目指す学部学生、大学院生の皆さんは奮ってご  
 参加下さい。

**開催日:** 3 月 13 日 (水) 13:00 ~  
**場所:** つくば国際会議場 (エポカルつくば)  
 茨城県つくば市竹園 2-20-3

### プログラム:

13:00-13:05 開会の挨拶 野村昌治 (KEK)  
 13:05-13:40 「小惑星と彗星の砂に秘められた初期太陽  
 系進化」中村智樹 (東北大学 理学部)  
 13:45-14:20 「ビームラインの中の地球—高温高圧実験  
 で迫る地球物質科学」  
 佐野亜沙美 (JAEA)

## 予 定 一 覧

2013 年

3 月 12 日	CMRC 研究会「構造物性研究の現状と今後の展開—共鳴軟X線散乱を中心に—」 (KEK つくばキャンパス 4 号館 2 階輪講室)
3 月 13 日	西川記念シンポジウム (エポカルつくば) CMRC 全体会議 (エポカルつくば)
3 月 14 日～15 日	物構研サイエンスフェスタ (エポカルつくば)
4 月 12 日	PF 平成 25 年度第一期ユーザー運転開始
4 月 16 日	PF-AR 平成 25 年度第一期ユーザー運転開始
4 月 26 日	PF, PF-AR 平成 25 年度第一期ユーザー運転停止
5 月 9 日	PF 平成 25 年度第一期ユーザー運転再開
5 月 10 日	PF-AR 平成 25 年度第一期ユーザー運転再開
6 月 21 日	平成 25 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切
6 月 28 日	PF, PF-AR 平成 25 年度第一期ユーザー運転終了

※最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getscht.txt> をご覧下さい。

- 14:25-15:00 「持続可能社会へ向けての放射光が拓く触媒材料科学」 稲田康宏（立命館大学）
- 15:05-15:25 休憩
- 15:25-16:00 「加速器中性子技術の高度化による工学材料研究の新展開」 佐藤 博隆（北海道大学）
- 16:05-16:40 「 $\text{RFe}_2\text{O}_4$  の電荷秩序型誘電性と最近の誘電体の話題」 池田 直（岡山大学）
- 16:45-17:20 「ミュオンスピン回転法による物性研究の最前線」 伊藤 孝（JAEA）
- 17:30-19:00 懇親会
- 参加申し込み方法等については、ホームページ (<http://nishikawa-sympo.kek.jp/>) をご覧ください。

## 平成 25 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 村上 洋一

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて1～2日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間6件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

### 記

1. 開催期間 平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月
2. 応募締切日 平成 25 年 6 月 21 日（金）  
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判、様式任意）
  - (1) 研究会題名（英訳を添える）
  - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
  - (3) 提案代表者氏名、所属及び職名（所内、所外を問わない）
  - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
  - (5) 開催を希望する時期
  - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名、所属及び職名
4. 応募書類送付先（データをメールに添付して送付）  
放射光科学研究施設 主幹秘書室 森 史子  
Email: pf-sec@pfqst.kek.jp TEL: 029-864-5196

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当たり上限 50 万円程度）。開催日程については、採択後に PAC 委員長と相談して下さい。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

## 平成 25 年度後期共同利用実験課題公募 について

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所の放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）は、電子蓄積リングから放出される放射光を用いて研究を行うための全国共同利用研究施設です。下記の要領で共同利用実験課題を公募します。なお、低速陽電子実験施設の共同利用実験課題を併せて公募します。課題審査等は放射光共同利用に準じて行われます。

今回の公募は 4 月上旬から受付開始し、締切は 5 月中旬を予定しております。申請は専用 Web ページ (<https://pmsweb.kek.jp/k-pas>) にアクセスして、必要事項を入力して下さい。これまで PF を利用されていない方は新規にユーザー登録が必要になりますので、余裕を持って申請ください。締切時間は Web システムで設定されており、少しでも締切時間をすぎますと受け付けられなくなりますので十分ご注意ください。7 月に審査結果の速報が電子メールで送られる予定です。採択された課題は 10 月に有効となり、実験が開始できます。

### 【概要】

応募資格者は国立、公立及び私立大学、国立、公立研究所等の研究機関の研究者、又はこれらに準ずる研究者に加えて、科学研究費補助金の申請資格を有する機関に所属する研究者が研究成果を無償で社会に還元することを主目的とする研究等も含まれます。軍事目的の研究はできません。

所定の手続きに従って共同利用実験申請書を提出し、課題審査委員会で採択された場合は無償で実験を行うことが出来ます。原則として評点の高い課題から順に**ビームタイムが配分されます**。実験参加者（研究者および大学院生）は規程に従い、図書室の利用等の便宜供与を受けるとともに、機構内の宿泊施設を利用し、旅費、宿泊費等の支給を受けることができます。

利用できるビームライン・実験装置については「フォトンファクトリーの実験ステーション・実験装置」([http://pfwww.kek.jp/users\\_info/station\\_spec/index.html](http://pfwww.kek.jp/users_info/station_spec/index.html)) を参照下さい。

### 【研究成果の公表】

実験の結果は公表（学術論文、学位論文、Activity Report、学会口頭発表等）していただきます。論文には使用した施設名、ビームライン名を明記して下さい。謝辞には以下の様に課題番号を記載して下さい：This work has been performed under the approval of the Photon Factory Program Advisory Committee (Proposal No. 2006G123)。

放射光共同利用実験結果が少しでも含まれる学術論文、学位論文などを発表された場合にすみやかに PF 出版データベース ([http://pfwww.kek.jp/users\\_info/users\\_guide/pubdb.html](http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/pubdb.html))、学位論文データベース ([http://pfwww.kek.jp/users\\_info/users\\_guide/thesispubl.html](http://pfwww.kek.jp/users_info/users_guide/thesispubl.html)) に登録し、別刷りまたは PDF ファイルをお送りください。成果を記者発表する場

合には事前に広報担当者(宇佐美徳子:noriko.usami@kek.jp)にご連絡ください(参考:「プレスリリース等成果発表について」<http://imss.kek.jp/howtopress/index.html>)。

実験の成果およびそれにかかわる知的財産権の専有を希望される場合は、下記研究協力課共同利用支援室共同利用係にご相談下さい。本共同利用実験により得られた知的財産権の帰属については、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構知的財産取扱規程に基づき、その都度協議することになります。

**過去に採択され、実施された課題が複数ある場合には、それらの課題によるPF出版データベースへの登録状況が審査に際して考慮されます。**その基準は以下の通りです。

申請課題の採択時から遡って2.5年前から8.5年前に採択された課題が2件以上ある場合について、

1. 採択課題数の1/3以上の課題について論文が登録されていない実験責任者に事情を照会する(yellow card 調査対象)。
2. 調査の回答に基づき、問題点の解析を行う。
3. 回答がない実験責任者の申請課題は不採択とする。
4. 論文登録の少ない実験責任者の申請については、実験責任者からの回答、該当期間の課題に関する論文登録状況、学位論文等の登録状況を考慮し、PAC分科会で評点の減点を提案し、PACで決定する。減点は以下の基準で行う。

\* 2/3以上の課題について論文登録がない場合は、-1.0を基準とする。1/3を越える課題について論文登録がない場合は、-0.5を基準とする。

#### 【課題のカテゴリー】

課題のカテゴリーには、一般的な実験(G型)、初心者による実験や予備実験(P型)、緊急かつ重要な実験(U型)、特別型(S1, S2型)等があります。それぞれのカテゴリーの特徴、審査基準などの詳細はPFのWeb([http://pfwww.kek.jp/users\\_info/pac\\_application/category.html](http://pfwww.kek.jp/users_info/pac_application/category.html))をご覧ください。

#### 【審査について】

◆申請のあった実験課題は、当研究所に設置された放射光共同利用実験審査委員会(PF-PAC)で審査し、運営会議の議を経て、所長が採否の決定をします。なお、緊急かつ重要な実験課題(U型)については、申請書受理後、直ちにレフェリーの意見を徴し、その意見を参考にして、その都度、採否を決定します。

◆申請書には一つの研究課題に関する研究内容・計画を記し、関連性の薄い複数の研究課題を列記しないでください。審査は申請書に記述された研究の内容について行ないますので申請書は具体的に記述して下さい。

◆すでに述べましたが、これまでに実験をされた方からの申請については、それらの課題に関する論文登録状況も審査の対象となります。PF出版データベースおよび学位論文データベースへの登録を予め確認してください。登録状

況が宜しくない場合は、課題審査に先立ち電子メールで事情説明を求めます。回答がない場合は、不採択となります。速やかに回答してください。

◆審査結果は、実験責任者およびContact Person in Japan(国外からの申請の場合)にお知らせします。

◆S2型の審査は、書面審査の後、評定者(5人以上)等を対象に口頭説明を行いません。採択の後は、毎年PFシンポジウムで進行状況を報告して頂き、PF-PACで評価します。採択されたU型課題はPFシンポジウムで報告していただきます。

◆P型(予備実験・初心者実験)の申請に当たっては、実験ステーション担当者との事前打ち合わせが必須です。十分な時間的余裕をみた上で、実験ステーション担当者と技術的なことについて緊密に打ち合わせて下さい。また、初心者型の実験には経験者を加えることが出来ません。

◆本公募により提供された個人情報、課題審査および課題採択後に共同利用実験を円滑に実施するための連絡等の目的で利用いたします。また、採択課題については、本機構のホームページ及び刊行物に実験責任者氏名・所属及び実験課題名等を掲載することをご了承下さい。

#### 【チームタイム配分】

課題審査では学問上の価値、技術的な実行の可能性に重点を置いて申請書の評価を行い、最高5点で評点を付けます。このため、課題が採択されたことは必ずしもチームタイムを申請されたチームタイムの配分を約束するものではありません。チームタイムの配分は、課題の評点を考慮して、運転期毎に行われますので、使用するチームラインの担当者と連絡をとってください。今回採択されたG型課題の評点分布はp.65に掲載しています。

#### 【その他】

◆実験を行うに当たり、放射線業務従事者として登録していただく必要があります。

◆実験を実施する時は、安全確保のため、放射線、化学薬品、有害物質等に関する当機構の諸規則その他の関係法令の規制を受けます。

◆国内の大学等からの利用に当たり、PFのルールに基づき旅費、滞在費のサポートを行います。また、宿舎等は空きのある範囲で利用可能です。

◆(課題の再申請)採択されたけれども評点が低いためにチームタイムが配分されない課題について、より高い評価を得るために再申請を行うことができます。このような申請を提出する場合には申請書の中に再申請であることを明記して下さい。再申請が採択された場合には、いずれかの課題を取り下げさせていただきます。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

**研究協力課共同利用係**

**Tel: 029-864-5126 Fax: 029-879-6137**

**Email: kyodo1@mail.kek.jp**

# 運転スケジュール(April ~ July 2013)

E : ユーザー実験    B : ボーナスタイム  
 M : マシスタディ    T : 立ち上げ  
 MA : メンテナンス    HB : ハイブリッド運転

4月	PF	PF-AR	5月	PF	PF-AR	6月	PF	PF-AR	7月	PF	PF-AR
1(月)			1(水)			1(土)			1(月)		
2(火)			2(木)			2(日)			2(火)		
3(水)			3(金)			3(月)	HB	E	3(水)		
4(木)	STOP	STOP	4(土)	STOP	STOP	4(火)			4(木)		
5(金)			5(日)			5(水)			5(金)		
6(土)			6(月)			6(木)	MA/M	MA/M	6(土)		
7(日)			7(火)			7(金)			7(日)		
8(月)			8(水)	T/M		8(土)			8(月)		
9(火)			9(木)		T/M	9(日)	E	E	9(火)		
10(水)	T/M		10(金)			10(月)			10(水)		
11(木)			11(土)			11(火)			11(木)		
12(金)			12(日)	E	E	12(水)	B	B	12(金)		
13(土)			13(月)			13(木)	M		13(土)		
14(日)	E	T/M	14(火)			14(金)			14(日)		
15(月)			15(水)	B	B	15(土)			15(月)	STOP	STOP
16(火)		E	16(木)	M		16(日)	E	E	16(火)		
17(水)	B	B	17(金)			17(月)			17(水)		
18(木)	M		18(土)			18(火)			18(木)		
19(金)			19(日)	E	E	19(水)	B	B	19(金)		
20(土)			20(月)			20(木)	M	M	20(土)		
21(日)	E	E	21(火)			21(金)			21(日)		
22(月)			22(水)	B	B	22(土)			22(月)		
23(火)			23(木)	B	M	23(日)	E	E	23(火)		
24(水)	B	B	24(金)			24(月)			24(水)		
25(木)	E	E	25(土)			25(火)			25(木)		
26(金)			26(日)	E	E	26(水)	B	B	26(金)		
27(土)			27(月)			27(木)	E	E	27(土)		
28(日)	STOP	STOP	28(火)			28(金)			28(日)		
29(月)			29(水)	B	B	29(土)	STOP	STOP	29(月)		
30(火)			30(木)	M		30(日)			30(火)		
			31(金)	HB	E				31(水)		

スケジュールは変更されることがありますので、最新情報はPFホームページ(<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>)の「PFの運転状況／長期スケジュール」(<http://pfwww.kek.jp/unten/titlej.html>)をご覧ください。